

昔より短くなったとはいえ、1カ月もある長い夏休み中に無理なく取り組める宿題を出すというのは、意義のあることです。NIEに関する宿題の例を、教科別に挙げてみます。

【国語】

- ・ 1日分の新聞から50行程度の記事を1つ選び、新出漢字や新出漢字を含む熟語を蛍光ペンで塗る → 1つも見つからない場合は別の記事で探す → 記事を切り抜き、画用紙などB4判の厚手の用紙に貼る → 新出漢字・熟語に読みとその意味を書く → 新出漢字・熟語を含む文を抜き出して書く → 本文を要約する(大事なところを短くまとめる)。
- ・ 四コマまんがを、想像力を膨らませながら、物語にする。

【社会】

- ・ 見開き2ページの社会面の記事から、日本の市町村名を見つけて蛍光ペンで塗り、あらかじめ配った白地図にその市町村を書き込む。場所が分からないときは、地図帳の索引から求めるよう指示する。

【算数】【数学】

- ・ 記事に出てくる数値の単位でカタカナ表記のものを、記号に直す。
- ・ 陸上や水泳の選手の記録を時速、分速、秒速などに換算してみる。

【理科】

- ・ 朝刊に掲載されている天気図を1カ月分ノートに貼り、その天気図から分かったことをまとめる。雲の写真を添えるとなおよい。
- ・ ある日の新聞天気図を拡大コピー(同じものを5枚ほど)した後、厚紙に貼り、これを元に立体天気図を作る。

【英語】

- ・ 四コマまんがの吹き出しのせりふを、自分の知っている英語で表現する。
- ・ 写真の説明文を英語で表現する。
- ・ 記事についている見出しは無視し、独自の見出しを自分の知っている英語でつける。

宿題を指示するときには、プリントで詳しく説明することと、NIEに限らなくてもよいので、労力を費やせば誰にでもできる課題を必ず1つは入れておく必要があります。

(鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問)